



## 資料 1

### 発達障害に関する周知・啓発活動の報告について (令和3年度実績)

- ① かかりつけ医等発達障害対応力向上研修
- ② 発達障害に関する講演会



令和4年度第1回さいたま市発達障害者支援地域協議会

1

## 令和3年度 かかりつけ医等発達障害対応力向上研修について

### 1. 概要

研修については、国の「かかりつけ医等発達障害対応力向上研修事業実施要綱（令和2年3月24日付け障発0324第8号）」により定められています。

#### (1) 目的

発達障害の早期発見・早期支援の重要性に鑑み、発達障害者等が日頃より受診する診療所の主治医等の医療従事者等に対して、発達障害に関する国の研修の内容を踏まえた研修を実施し、どの地域においても一定水準の発達障害への対応を可能とすることを目的とする。

#### (2) 内容

国の研修内容に基づき、発達障害支援に携わるものとして必要で適切な発達障害に関する診療の知識・技術などの修得に資する内容とする。また、研修内容については、国の研修で使用されているテキストの内容に基づいたものとする。

その際、国の研修を踏まえた、研修を異なる圏域で実施するなど工夫するものとする。なお、地域の実情に応じて複数の研修内容を合わせて実施することや単独の研修内容のみで実施することもできるものとする。

#### (3) 修了証書の交付等

研修修了者には修了証書を交付する（さいたま市内の医療機関についてはさいたま市から、市外の医療機関については埼玉県から交付する）。

また、研修修了者の同意を得て、研修修了者の名簿を作成し、その情報を市町村や発達障害者支援センターなどの関係機関に配布することで、地域の発達障害医療体制の推進並びに管内の発達障害者及びその家族等の受診の利便性に資するものとする。

#### (4) 研修メニュー

- ・発達障害者支援研修：指導者養成研修パートⅠ～Ⅲ（R2～）

※～R1：発達障害地域包括支援研修：早期支援、精神保健・精神医療並びに発達障害支援医学研修

2

## 令和3年度 かかりつけ医等発達障害対応力向上研修について

### 2. さいたま市（パートⅡ）の実施状況

埼玉県と共催で平成28年度から実施しており、例年1～2コースを実施。平成30年度から本市においても予算化し、埼玉県とさいたま市で1回ずつ実施している。

【令和3年度 開催実績（さいたま市実施）】

	かかりつけ医等発達障害対応力向上研修
主 催	埼玉県・さいたま市
後 援	一般社団法人埼玉県医師会
日 時	令和3年12月1日（水）9時～令和3年12月14日（火）16時まで
会 場	動画配信によるオンライン形式
対 象	埼玉県内の医療機関の医師
参加者	125名（埼玉県：102名/さいたま市：23名）
講 師	さいたま市総合療育センターひまわり学園 参事 後藤 晴美 先生
内 容	・発達障害支援施策について ・発達障害の早期支援方法について 等
国研修メニュー	発達障害者支援研修 指導者養成研修パートⅡ

3

## 令和3年度 かかりつけ医等発達障害対応力向上研修について

### 3. 令和3年度アンケート結果

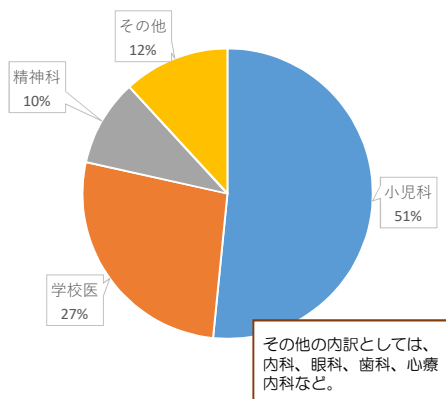
【かかりつけ医等発達障害対応力向上研修（パートⅡ）（さいたま市実施）】

実施日：令和3年12月1日（水）9時00分～令和3年12月27日（月）16時00分

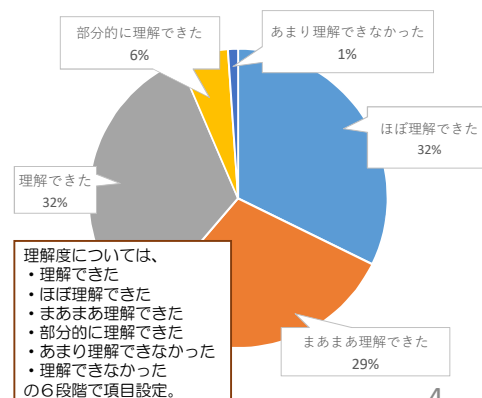
アンケート回収数：93（回収率 約73.8%）（埼玉県：82名/さいたま市：11名）

アンケート回答期間：令和3年9月29日（水）～令和3年10月25日（月）

#### 1. 受講者の診療科



#### 2. 理解度



4

### 3. 令和3年度アンケート結果

#### 感想 など (パートⅡ)

- ・発達障害の感覚特性については、興味深く、その全体像がつかめた感じで、大変参考になりました。初心者のための発達障害診療の心得はとても参考になります。
- ・発達障害者の子どもの頃からの特徴がとてもわかり易く、ためになった。成人へのスムーズな移行がポイントになるようなので、小児科に限らず学ぶべき内容と感じた。
- ・オンデマンドのため、興味のある内容は繰り返し動画を見ることができた。ASDの御本人の感じ方などの具体的な内容の記載があり、想像もできない感じ方だったため、とてもわかりやすかったです。
- ・発達障害児に対する行政の体制や医療サービスについての体制を知ることができた。
- ・小児科医の立場からの講演だったため、共通理解が得られよく理解できました。日常診療での親との対応など、参考になる点があり、良い研修でした。
- ・普段より感じていることではあるが、発達障害の判断および、診断というのは難しいものだとは再認識できた。事例も活用しながらの説明で、全般的に理解しやすい内容だった。
- ・今回、学習障害と間隔調整障害について新しく聞けて参考になりました。オンデマンドで聞けて何回も聞いて理解が進みました。ぜひこれからもオンデマンドでお願いしたいです。

### 令和3年度 かかりつけ医等発達障害対応力向上研修について

#### 2. 埼玉県 (パートⅠ) の実施状況

埼玉県と共催で平成28年度から実施しており、例年1～2コースを実施。平成30年度から本市においても予算化し、埼玉県とさいたま市で1回ずつ実施している。

#### 【令和3年度 開催実績 (埼玉県実施)】

	かかりつけ医等発達障害対応力向上研修
主 催	埼玉県・さいたま市
後 援	一般社団法人埼玉県医師会
日 時	令和3年9月29日(水) 9時～令和3年10月12日(火) 16時まで
会 場	動画配信によるオンライン形式
対 象	埼玉県内の医療機関の医師
参加者	149名 (埼玉県:123名/さいたま市:26名)
講 師	埼玉県立精神医療センター 医長 牧野 和紀 医師
内 容	・発達障害の診断、治療について ・かかりつけ医の役割とトランジション 等
国研修メニュー	発達障害者支援研修 指導者養成研修パートⅠ

## 令和3年度 かかりつけ医等発達障害対応力向上研修について

### 3. 令和3年度アンケート結果

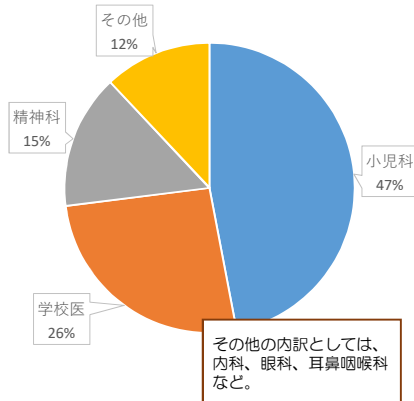
【かかりつけ医等発達障害対応力向上研修（パートⅠ）（埼玉県実施）】

実施日：令和3年9月29日（水）9時00分～令和3年10月12日（火）16時00分

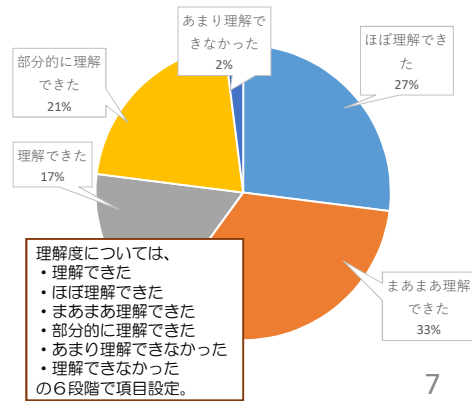
アンケート回収数：100（回収率 約65.3%）（埼玉県：85名/さいたま市：15名）

アンケート回答期間：令和3年9月29日（水）～令和3年10月25日（月）

1. 受講者の診療科



2. 理解度



7

### 3. 令和3年度アンケート結果

#### 感想など（パートⅠ）

- ・医学的な問題だけでなく、社会的な支援も必要だということを理解した。
- ・アドバイスされている先生方の情熱的な活動を、講演を通じて知ることができた。悩み解決にむけて、各先生と連携したいと思いました。
- ・外来診断で中途半端に介入することは良くないと感じました。
- ・併存症が多岐にわたる事、また、より多くの人を巻き込み患者を見守る必要があることが理解できた。
- ・今回の研修にて、基本の基本、一小児科医としての立ち位置についてはある程度理解できたと感じます。
- ・地域のかかりつけ医として患者をみた時に、多くの気を付ける点や協力を得るべき団体があることがわかりました。  
一方で疑わしい患者に接したとき、実際にどのように診療、アプローチしていけるかはまだ難しく感じており、経験と知識が必要と思います。
- ・発達障害の構造、問題点などは理解できたものの、実際のアプローチが理解しにくく、また、発達検査などどこで行っているのかなどがわかるとよかったです。

8

## 令和3年度 発達障害に関する講演会について

### 1. 開催概要

テーマ：「発達障害がある方の進路選択と就労支援」

講師：○社会福祉法人みぬま福祉会さいたま市北区障害者生活支援センター 岸端 泉 氏  
○独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構埼玉支部 埼玉障害者職業センター  
主幹障害者職業カウンセラー 田村 恭子 氏

実施：動画配信によるオンライン形式

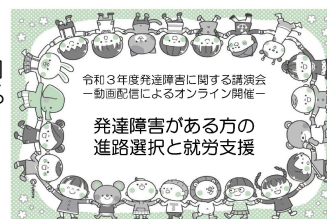
(さいたま市公式YouTubeチャンネルにおける申込者限定配信)

日程：令和4年3月14日(月)～令和4年4月15日(金)

※新型コロナウイルスの影響により、会場開催ではなく、動画配信形式で実施した。

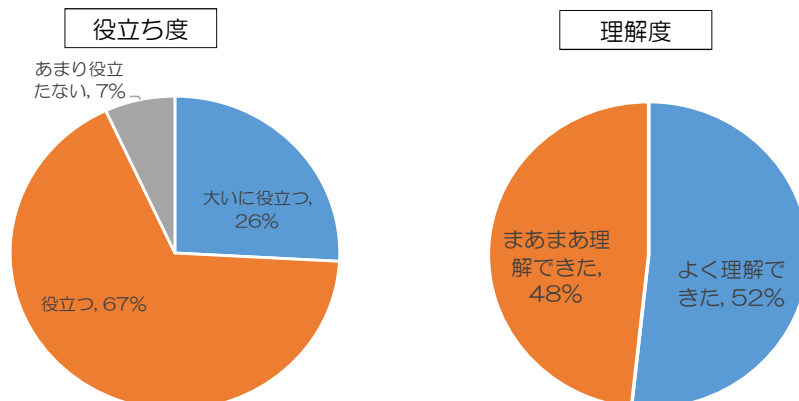
### 2. 開催結果

- ・事前申込者 433名
- ・アンケート数 116
- ・動画合計視聴回数 1,228回
- ・回収率 約26.8%



## 令和3年度 発達障害に関する講演会について

### 3. アンケート結果

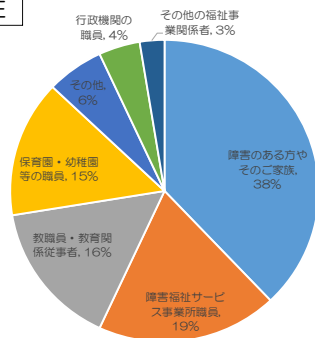


- ・「大いに役立った」、「役に立った」を合わせた割合 ⇒ 93%
- ・「よく理解できた」、「まあまあ理解できた」を合わせた割合 ⇒ 100%

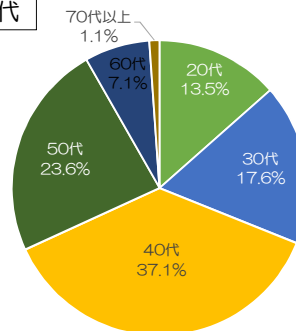
## 令和3年度 発達障害に関する講演会について

### 3. アンケート結果

参加者属性



参加者年代



○障害のある方やその家族が4割弱となった。進路選択や就労支援など、ライフステージがうつり変わることによる不安を感じている方の視聴が多かったと考えられる。

○40～50代の受講者が6割を占める。障害のある方の家族や支援機関における中堅ポスト、管理責任者である方の視聴が多かったものと考えられる。

11

## 令和3年度 発達障害に関する講演会について

### 3. アンケート結果

感想など

- 今回の研修はとっても勉強になった。大人になって社会に出た時に支援を受けることで生きづらさや困りごとを軽減でき、自分に合った仕事が出てくると精神的にも安定するのだと思いました。また、周りの人たちがわかっていることで優しく接してくれているのだと思いました。
- 最近成人年齢が引き下げられたことも併せ高校卒業の年齢は重要な節目がいくつも重なる時期だと思います。そのような中で、今回の講演会では具体的な選択肢や支援機関を提示していただき、とてもわかりやすく先をイメージしやすいものでした。
- 障害のある子どもがいます。今まで、出来ることが増えたと喜んでいただけでした。しかし、大人になってからの生活のイメージをしておくこと、希望や目標を作っておくことがいいと教えていただいたので実践したいと思います。
- 発達障害のある子どもの将来について、まったく見通しがたらず不安ばかりでした。不安から、子どもの特性に寄り添うことからかけ離れ、いわゆる「普通」に追いつくことに躍起になって、お互いにストレスを抱えて過ごしてきました。しかし、今回の講演を聞き、子どもの将来を見据えた支援の方向性が見えてきたように感じます。特に心身の健康が自立・就業の土台になることに改めて気付かされたことは、今後の子どもとの関わりに光の道筋を示して頂いたように感じます。

12